こんな活動です

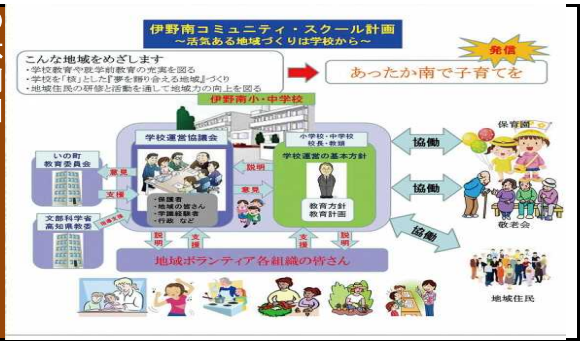
伊野南応援団
－学校を核とした「新しい公共」型地域コミュニティ学校の創造－

高知県いの町	●活動名	●関係する学校名
	伊野南応援団	いの町立伊野南小学校 いの町立伊野南中学校

協働活動開始年度	平成 27 年度	関係学校数	2 校	のべ学級数	16 学級	のべ児童・生徒数	253 人
活動区分	学校支援活動	―	地域人材育成				
	―	―	―				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	―		2人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
	平成25年4月1日設置		85人				
参考URL	http://www.kochinet.ed.jp/inominami-e/						

●連絡先 いの町教育委員会事務局 ☎ 088-893-1922

●体制図



●活動の概要・経緯

平成22年度に放課後子ども教室として『南っ子ミュニティ』を設立し，4つの教室を開設した。その活動は，現在の学校支援地域本部事業・生涯学習教室及び学校のクラブ活動として広がりを見せている。

平成25年度には，伊野南小学校運営協議会を立ち上げ，コミュニティ・スクールとしても活動を始めた。平成27年度からは，伊野南中学校と共に「伊野南応援団」として小中合同の地域協働活動を開始した。

ボランティア組織は4つあり，代表は学校運営協議会の委員となっている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

○小学校と中学校が連携し，学校運営協議会を年間6回行っている。委員には，校区内の保育園園長も入っており，保育園から中学校までを見通し，地域ぐるみで子供を育てている。また，保小中連携による伊野南クリーン大作戦（地区のゴミ拾い活動）を実施した。

○放課後等体験活動・・・ダンス、三味線など15教室　　ボランティア（85名登録）・・・安全，環境，図書，学習の4つ

○小学校では，総合的な学習の時間を中心に地域と触れあう機会が多く設けられ，「奥田川親水公園まつり」も地域と協働して実施している。それを基に中学校では，地域の実情をさらに知る取組に発展させ，(1)必要な情報を集め，地域の現状を知る。(2)地域の方々の思いを知る。(3)地域の一員として自分たちに何ができるか考え，行動する。に焦点をあて，各年齢層の方から情報を収集し，自分たちに今できることやこれから考えていくことなどの学習をしている。

【実施に当たっての工夫】

○学校運営協議会では，学校運営・教育課程，児童生徒の様子，ボランティア活動及び児童会・生徒会からの活動報告等について協議・意見交流を行う。そして，各ボランティアの代表は協議内容をボランティアに報告し，意見を集約したものを学校運営協議会に反映させていくシステムを構築している。

○ボランティアの中には民生・児童委員がおり，児童のことについて日頃から話し合う体制ができている。

○コミュニティ・スクールディレクター（兼地域コーディネーター）は，学校運営協議会事務局支援，ボランティア組織の連絡調整，学校情報の適切な提供をホームページ，いの町広報等で行っている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

○学校や学校運営協議会が，地域にある既存の組織や地域住民，保護者と連携して学校や地域の情報を発信したり，地域のボランティア人材を組織化したりして，学校運営や教育活動に地域ぐるみで取り組んでいる。

○ボランティアとして地域住民の学校運営への参画を促進することにより，地域の創意工夫を生かした特色あるコミュニティ・スクール・学校力を生かした地域づくりを進めることができている。

○放課後等の学習や体験活動を行うことで，子供の居場所や異年齢交流の場ができ，子供のコミュニケーション能力や経験の機会が広がっている。

○小学校が地域と関わりを持つことで，地域の方の学校への関心度が高まり，中学校では，その関心度を生かし，地域人材を各分野で活用することで学習内容の充実に繋がっている。

● その他

○学習支援は，わくわく教室。全校児童を対象に放課後加力学習を行う。

○ICT活用は学校ホームページで発信。

4年総合的な学習とボランティアが協働して実施

奥田川親水公園まつり

保小中連携による地区のゴミ拾い

児童からボランティアの方へ感謝状贈呈

伊野南クリーン大作戦・ありがとう集会